

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-56541

(43)公開日 平成8年(1996)3月5日

(51)Int.Cl.⁶

A 0 1 K 97/10

識別記号

B

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号

特願平6-233986

(22)出願日

平成6年(1994)8月22日

(71)出願人 592235363

畑中 安夫

神戸市灘区城内通4丁目3番24号

(72)発明者 畑中 安夫

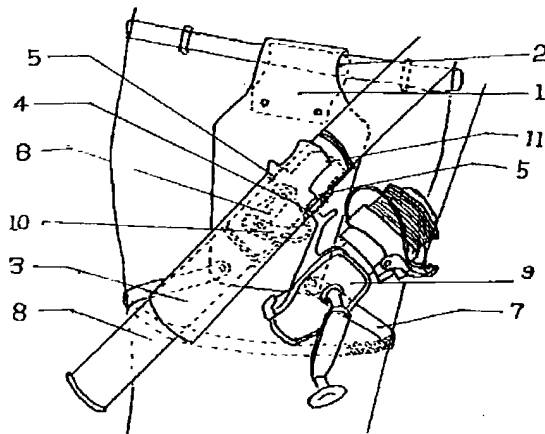
兵庫県神戸市灘区城内通4丁目3番24号

(54)【発明の名称】 釣竿用固定器具

(57)【要約】

【目的】 本発明は、如何なる釣り場所においても釣竿を筒型回動部材に収納することにより、両手が使えるようにした釣竿用固定器具を安価に提供できることを目的とする。

【構成】 釣竿用固定器具本体(1)の上方に、釣人のズボンや腰バンド等に係止できるように構成された係止部(2)と、該釣竿用固定器具本体(1)の中央に筒型回動部材(3)を取り付け、該筒型回動部材(3)の端部に、釣竿(8)に固定したリール固定部(4)に合わせた嵌合自在の切欠部(5)を設け、該筒型回動部材(3)が任意の角度で固定できる任意角度調節部(6)と、該釣竿用固定器具本体(1)の下方に固定可能なバンド(7)から構成されたことを特徴とする、釣竿用固定器具である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 釣竿用固定器具本体(1)の上方に、釣人のズボンや腰バンドなどに係止できるように構成された係止部(2)と該釣竿用固定器具本体(1)の中央に筒型回動部材(3)を取り付け、該筒型回動部材(3)の端部には、釣竿(8)に取り付けたリール固定部(4)に合せた嵌合自在の切欠部(5)を設け、該筒型回動部材(3)が任意の角度で固定できる任意角度調節部(6)と該釣竿用固定器具本体(1)の下方に、固定可能なバンド(7)から構成されたことを特徴とする釣竿用固定器具。

【請求項2】 筒型回動部材(3)の端部を外側にラッパ状に広げたことを特徴とする、請求項1に記載の釣竿用固定器具。

【請求項3】 筒型回動部材(3)の切欠部(5)を上下対象の切欠部としたことを特徴とする、請求項1又は2に記載の釣竿用固定器具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、如何なる釣り場所においても、釣竿を筒型回動部材に収納することにより、両手が使えるようになり、釣り中に伴う手作業を円滑に行うことができるようにした釣竿用固定器具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より市販されている釣竿受けは、釣船の舷・手摺などに取り付けて使用する船釣り専用釣竿受け、又は磯・防波堤等ではスタンド式の釣竿受けが使用されているが、いずれも1ヶ所に固定して使用する為、設置場所が限定されるばかりでなく、釣り範囲も限定され、磯釣り等の足場の悪い岩場や、釣り人が釣り場を移動した場合は利用できず不便であった。

【0003】又、磯や防波堤等で釣りをする場合、釣餌の装着・仕掛けの調整、又は釣り上げた魚を釣針から外す場合等、両手を必要とする手作業を行う場合は、釣竿を一旦何処かに仮置きしなければならず、不安定な場所に仮置きした場合は釣竿の落下・折損、又は釣糸の擦り傷等、直接釣りに影響を及ぼすようなトラブルの発生を免れることができなかった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】前述したように、如何なる釣り場においても、簡単に素早く利用できる釣竿用固定器具は釣り人の願望であり、魚釣りの大衆化がこれに拍車をかけるに至っている。このため、本発明は釣り場に限定されることなく、釣人の身体に直接固定し、両手を必要とするとき簡単に素早く釣竿を釣竿受けに収納できる、釣竿用固定器具を提供することを目的としてなされたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の問題点

を解決するために次の様な構成とした。

【0006】釣竿用固定器具本体(1)の上方に、釣りのズボンや腰バンドなどに係止できるように構成された係止部(2)と、該釣竿用固定器具本体(1)の中央に筒型回動部材(3)を取り付け、該筒型回動部材(3)の端部には、釣竿(8)に取り付けたリール固定部(4)に合せた嵌合自在の切欠部(5)を設け、該筒型回動部材(3)が、任意の角度で固定できる任意角度調節部(6)と、該釣竿用固定器具本体(1)の下方に固定可能なバンド(7)から構成されたことを特徴とする釣竿用固定器具を請求項1とした。

【0007】筒型回動部材(3)の端部を外側にラッパ状(11)に広げたことを特徴とする請求項1の釣竿用固定器具を請求項2とした。

【0008】筒型回動部材(3)の切欠部(5)を上下対象の切欠部(5)としたことを特徴とする請求項1又は2に記載の釣竿用固定器具を請求項3とした。

【0009】

【作用】本発明は以上のような構成としたので、これを使用する時には、釣場所についてから釣竿用固定器具本体(1)の上方の係止部(2)をズボンや腰バンドなどに係止し、該釣竿用固定器具本体(1)の下方のバンド(7)を足の太ももあたりに固定する。(図2参照)

【0010】次に、魚釣り中に伴う色々な作業の流れの中で両手が必要な場合、一旦釣竿(8)を筒型回動部材(3)へ差し込むと、釣竿(8)に取り付けたリール固定部(4)が該筒型回動部材(3)の切欠部(5)に嵌合し、該釣竿(8)が固定されるので、釣竿(8)を持っていた手が自由になる。

【0011】又、該筒型回動部材(3)の角度を調整することにより、楽な姿勢を保つことができ、該筒型回動部材(3)への釣竿(8)の出し入れがスムーズに行える。

【0012】

【実施例】以下、図面で示す実施例を参照しながらさらに詳述する。

【0013】釣竿用固定器具本体(1)の上方に、釣人のズボンや腰バンドなどに係止できるように構成されたもので、例えば釣竿用固定器具本体(1)が皮製品などの場合は、上方が筒状の場合、縫製で仕上がっているものやホックで止めて仕上がったもの、接着剤で仕上がったもの等がある。又、プラスチック製品などで仕上がった係止構造にしても良い。

【0014】以上のような係止部(2)と該釣竿用固定器具本体(1)の中央に筒型回動部材(3)が取り付けられ、任意の角度で固定できるよう円弧状の切り欠き部(10)と螺子などの固定手段からなる任意角度調節部(6)を設けた。又、その他の構造の任意角度調節手段を講じても良い。

【0015】前記した筒型回動部材(3)の端部には、

リール固定部(4)に合わせた嵌合自在の切欠部(5)が設けられているが、例えば上下対象の切欠部(5)を設けたことにより、釣竿(8)にリール(9)が正逆いずれの方向に取り付けられていても簡単に収納することができる。

【0016】又、筒型回動部材(3)の端部を外側に、ラッパ状に広げて釣竿の出し入れをスムーズにすることができる。

【0017】更に、前記した係止構造の、釣竿用固定器具本体(1)の下方に、固定可能なバンド(7)が設け

【0018】

【発明の効果】本発明は上述したように構成されているので、下記のように多大の効果を得るものである。

【0019】釣人の身体に固定するため、釣人が釣り場所を変えても移動した場所で簡単に使える。

【0020】釣竿を筒型回動部材へ差し込むことにより、釣竿が固定され、両手を必要とする手作業が容易にできる。

【0021】筒型回動部材の端部を外側にラッパ状に広げて、釣竿の出し入れをスムーズにすることができる。

【0022】筒型回動部材の切欠部を、例えば上下対象の切欠部にすれば、釣竿にリールを正逆いずれの方向に取り付けて使用していても、簡単に釣竿を収納すること

ができる。

【0023】筒型回動部材の角度を調節することにより、楽な姿勢を保つことができる。

【0024】簡単な構造で、誰でもが容易に利用できると共に、便利性和高く安価に提供することができる。

【0025】何処へでも持ち運びできる軽量で、且つ、故障の起きない商品であり、安全性が高く、安心して使用することができる。

【図面の簡単な説明】

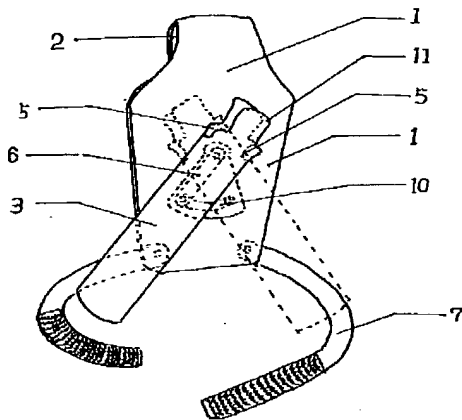
【図1】本発明を使用する前の状態を示した斜視図。

【図2】本発明をズボンに固定した時の使用例を示す斜視図。

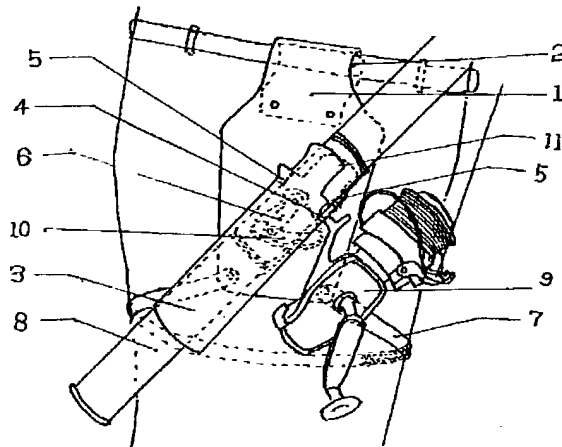
【符号の説明】

- 1 釣竿用固定器具本体
- 2 係止部
- 3 筒型回動部材
- 4 リール固定部
- 5 切欠部
- 6 任意角度調整部
- 7 バンド
- 8 釣竿
- 9 リール
- 10 円弧状の切り欠き部
- 11 ラッパ状に広げた端部

【図1】



【図2】



PAT-NO: JP408056541A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08056541 A
TITLE: FIXING TOOL FOR FISHING ROD
PUBN-DATE: March 5, 1996

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
HATANAKA, YASUO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
HATANAKA YASUO N/A

APPL-NO: JP06233986
APPL-DATE: August 22, 1994

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide an inexpensive fixing tool for a fishing rod for making both hands usable by housing a fishing rod in a cylinder type rotary member at any fishing place.

CONSTITUTION: This fixing tool for a fishing rod consists of an engaging part 2 constituted so as to hold pants and a waist band of a fisherman at the upper part of the main body 1 of the fixing tool for a fishing rod, a cylinder type rotary member 3 attached to the center of the main body 1 of the fixing tool for a fishing rod, a notch part 5 which is fit to a reel fixing part 4 stuck to a fishing rod 8 and is freely engaged, an

arbitrarily angle adjusting
part 6 capable of fixing the cylinder type rotary member 3
at any angle and a
band 7 capable of being fixed to the main body 1 of the
fixing tool for a
fishing rod.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO